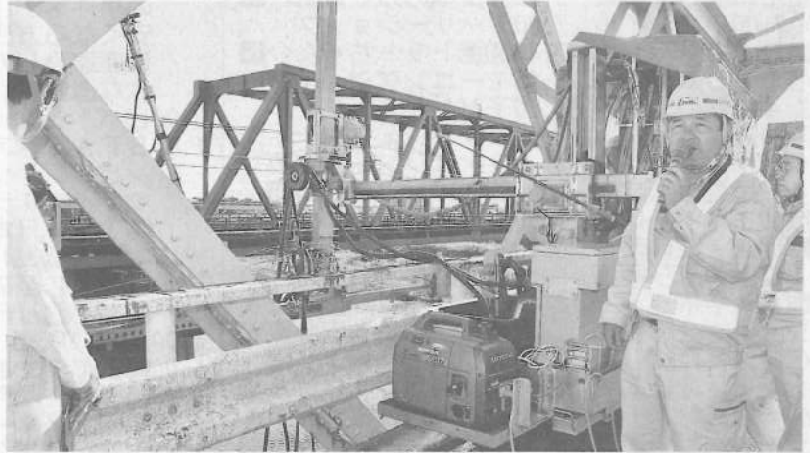


# 揖斐川橋をロボットで点検

## 岐阜大チームがフィールド試験



実際に操作しながら特徴などの説明があった橋を点検する最新ロボット＝大垣市新開町、揖斐川橋

### 高性能カメラでひび割れ撮影

大垣市と安八町を結ぶ揖斐川にかかる国重要文化財の揖斐川橋(大垣市新開町)の点検を行う、カメラを搭載した最新ロボット技術のフィールド試験が同橋であり、自治体職員や建設業者ら約80人が見学した。

(小田香緒里)

内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)」を研究課題とする岐阜大SIP実装プロジェクトなどが主催。同橋は1886年に完成した旧式のトラス橋。鉄道橋として供用開始した

が、2000年からは歩行者、自転車用の橋として利用されている。現在は同市が管理し、塗装作業が行われている。文化財として維持管理するため、通常の点検の際に設置する足場の組み立てなども橋に傷を付けないよう注意が必要になるなど、工事は難易度が高いという。

橋の下部とトラスの上部を点検する2種類のロボットの試験を実施。ロボットには高性能のカメラを搭載しひび割れを撮影するほか、コンクリートをたいて音を集めるなどの機能があり、操作台で画像や音を確認できるため直接橋の下などに降りる必要がない。

それぞれの開発企業の徴を説明し、参加者が担当者がロボットの特聴き入っていた。